



# 入門講座

市販されている紙に印刷された本では、読書ができない子どもが大勢います。視覚障害を始めとする身体障害や、学習障害などの発達障害のある子どもたちです。

そこで財団法人伊藤忠記念財団は、2010年より障害のある子どもたちを主な対象とした読書支援プログラムを開始しました。

具体的には、児童書を電子データ(マルチメディア DAISY)化し、全国の特別支援学校及び大都市の公共図書館に無償で提供しています。あわせて、そのような子どもたちへ読書の楽しさを届けることができる支援者の育成を図っています。

この講座は、障害児へ読書支援をするために、必要な知識と技術を学ぶ機会として実施します。

「僕も読めた!」「私の好きな本を見つけた!」さまざまな障害のため、今まで読書ができなかった子どもたちの「笑顔」を創るために、ぜひこの講座をご活用下さい。

主催: 財団法人伊藤忠記念財団

共催: NPO法人 バリアフリー資料リソースセンター(BRC)

後援: 社団法人 全国学校図書館協議会

## \* 日程、会場

平成 **23** 年 **11** 月 **20** 日(日) 午前 **10** 時 **00** 分~午後 **4** 時 **00** 分(開場:午前 **9** 時 **30** 分)

**JR静岡駅ビル パルシェ 7階 第3会議室**

(静岡市葵区黒金町 49 番地 JR 静岡駅 北側)

## \* 講座内容

10:00~10:15	開講式 
10:15~11:15	<b>I 障害のある読者の特性とニーズ、サポート技術 I</b> ~知的障害、自閉症など「わかりやすさ」を必要とする子どもたちをサポートする~ 京都府立南山城支援学校教諭 <b>藤澤 和子</b> 先生
11:20~12:20	<b>II 障害のある読者の特性とニーズ、サポート技術 II</b> ~全盲など「聞きやすさ」を必要とする子どもたちをサポートする~ 千葉県立西部図書館職員・BRC副理事長 <b>松井 進</b> 先生
13:20~14:20	<b>III 障害のある読者の特性とニーズ、サポート技術 III</b> ~学習障害、発達障害など「読み」に困難のある子どもたちをサポートする~ 石川県立明和特別支援学校教諭 <b>河野 俊寛</b> 先生
14:25~15:25	<b>IV 障害のある読者一人ひとりの特性にあった「読みやすさ」を作る</b> ~読書をサポートする様々なメディアの紹介とカスタマイズの方法~ 読書工房代表・BRC事務局長 <b>成松 一郎</b> 先生
15:30~16:00	伊藤忠記念財団が新たに目指す活動財団法人伊藤忠記念財団 <b>矢部 剛</b> 質疑応答・閉講式

\* 対象: 学校教職員及び学校図書館司書、公立図書館司書及び職員、ボランティア、障害のあるお子さんのいるご家族等、障害児の読書支援に関心のある18歳以上の方。(高校生不可)

\* 定員: **30** 名(申し込み先着順)  
(昼食は各自でご用意下さい)

\* 受講料: **無 料**

\* 問い合わせ & 申し込み **(必ず事前にお申し込み下さい)**

**財団法人伊藤忠記念財団**

〒107-0061 東京都港区北青山 2-5-1

電話: **03-3497-2652**

FAX: **03-3470-3517**

Eメール: **cds@itc-zaidan.or.jp**

### ☆財団法人伊藤忠記念財団

「青少年の健全育成に寄与すること」を目的として、1974年に伊藤忠商事株式会社によって設立された民間の公益法人です。「子ども文庫活動に対する助成」等助成事業の他、2010年度より新事業として、障害のある子どもたちを対象とした読書支援事業を開始しています。

### ☆バリアフリー資料リソースセンター(BRC)

「出版社」と「本をそのままの状態ですべての人が利用することが困難な読者」の橋渡しを行なう第三者機関です。

2005年に発足し、2008年より、販売されている本をそのまま読めない・読みにくい人のために「データ」を提供する事業と、「読みにくさ」を抱えている読者の潜在的なニーズを調査研究する事業を行っています。